

KN グローカルリサーチレポート

2020年2月
No.46



最も寒くなる2月ですが、今年は暖冬です。海面の水温が高く、偏西風が北に蛇行して本州付近に寒気が南下しにくいことが原因のようです。浜名湖のカキも秋の高水温が影響し、不漁のようです。



静岡県内企業 海外展開状況調査

先月、静岡県は2019年「静岡県内企業海外展開状況調査」を発表した。

調査の前提となるサンプル数を見ると、2014年は発送企業数1,375、回答企業数1,032であったが、2019年は発送企業数793、回答企業数606となっている。よって、この調査では経年変化を分析することは難しい。

だが、静岡県全体の傾向としては、①海外に事業所を持つ企業は、「浜松市」を中心とした西部地域に多い。②海外の事業所開設先数は、「中国」が最も多く、全体の約3割を占め、次いで、「タイ」、「米国」、「インドネシア」、「ベトナム」、「インド」、「台湾」の順となっている。③ただ、2019年の事業所開設先数を「中国」対「アセアン」で見ると、363対442となっている。

【現地採用従業員数 23万人】

表2の、2019年の現地採用従業員数を見ると、全体で約23万人を採用している。アセアンは約11.6万人で、中国（約4.5万人）の約2.6倍を雇用している。

表1 静岡県内企業 海外展開状況調査

	2014	2015	2016	2017	2018	2019
発送企業数	1,375	1,393	1,456	1,451	752	793
回答企業数	1,032	1,053	1,112	1,030	632	606
海外展開企業数	437	449	442	428	419	395
海外事業所合計	1,250	1,297	1,291	1,280	1,265	1,230
浜松市	462	478	476	481	482	489
磐田市	107	104	104	109	109	106
湖西市	50	53	53	53	32	18
掛川市	29	28	28	23	21	22
袋井市	24	25	26	23	22	23
静岡市	259	267	261	255	257	260
沼津市	76	83	86	77	76	69
富士宮市	36	38	39	39	40	41
富士市	48	44	41	40	40	39
海外事業所合計	1,250	1,297	1,291	1,280	1,265	1,230
中国	415	412	406	398	391	363
タイ	182	184	186	190	186	177
米国	118	126	125	126	120	117
インドネシア	103	110	108	107	108	107
ベトナム	69	74	81	82	81	83
インド	48	49	50	54	55	58
台湾	36	41	38	35	38	38
フィリピン	28	28	30	30	32	31
マレーシア	29	31	29	28	29	28
ドイツ	23	24	23	22	21	23
韓国	21	23	24	22	20	19
シンガポール	16	19	19	16	15	16
中南米	37	45	46	47	48	48

「静岡県内企業 海外展開状況調査」より作成

表2 現地採用従業員数(百人)

中国	449
アセアン	1,162
その他アジア	359
北米	130
ヨーロッパ	76
その他	169
全体	2,345

同上調査の「2019年」より

アクティブラーニング ～米国HighScope幼児教育カリキュラム 視察記～ (No.7)

【アクティブラーニングと、『学びの輪 Wheel of Learning』】

HighScopeの幼児教育はアクティブラーニングで行われており、『学びの輪 (Wheel of Learning)』と言う基本がある。教師は、

- ①『大人と子どもの相互関係 (Adult-Child Interaction)』
- ②『学びの環境 (Learning Environment)』
- ③『毎日のルーティン (Daily Routine)』
- ④『評価 (Assessment)』

の4つを意識しながら、アクティブラーニングで日々の幼児教育を行っている。

『大人と子どもの相互関係 (Adult-Child Interaction)』では、「Interaction Strategies」=大人主導で子どもは受け身でも無く、子ども主導で自由に遊ばせるのも無く、その中間のバランスのとれた状態を目指す。具体的には、

- a)大人が子どもの遊びに参加する (例えば、ごっこ遊びの相手として、子どもの創造的な遊びの世界に入る)
- b)大人が子どものパートナーとして対話する (大人は機会を捉えて、子どもの遊びについて会話し続ける)
- c)大人は賞賛の代わりに励ます (子どもの遊びを褒めたり評価したりするのではなく、子どもが遊びや言葉を広げられるように、具体的なコメントで励ます)
- d)大人は子どもの問題解決を促す (子どもの力だけで問題解決するように、大人は試行錯誤の場を提供する) を重視している。

このようにHighScopeでは、大人は子どもに何かを強制してはならず、子どもの良きパートナーとなって、子どもたちが新しいアイデアやより適切な方法を見つけられるように働きかけ、子どもたちのコミュニケーションスキルや創造力、自制心などを育てている。



【海外展開している企業の75%が製造業】

2019年の調査で、海外展開していると回答した企業395社の内、全体の約75% (298社) を「製造業」が占めた。その内訳は、「輸送用機械器具」94社、「その他製造業」68社、「一般機械器具」40社、「電気機械器具」31社等となっている。

【海外展開の目的】

海外展開の目的は、「現地市場の開拓」32.3%、「海外展開した取引先や親企業からの受注確保」23.1%、「低コスト労働力の利用」15.9%、「海外情報力の強化」13.3%等となっている。

表3 業種別状況

農林水産業	1
建設業	6
製造業	298
商業	37
金融・保険業	3
運輸・通信・電気	11
サービス業	16
その他	22
合計	395

同調査の「2019年」より

執筆 = 西川公一郎 : 元浜松市議会議員、防災士
(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長

浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org